

はがき通信・兵庫頸髄損傷者連絡会 合同シンポジウム

四肢麻痺者の多くは「排泄に困難をきたす」という問題を抱えている。自力で排泄が可能なのは少なく、他者の介助により排泄することが多いため、二次障害の発生というリスクも抱えています。

今回のシンポジウムは、盲腸ポート、摘便、浣腸、ストーマと、いろいろな排泄方法について、当事者から事例報告に基づき、自分に合った排泄の選択肢、同時にそれぞれのリスクを考えます。また、専門分野（WOCナース）とともにディスカッションを行い、四肢麻痺者の生活の質の向上に役立つことを目的とします。

日時： 平成28年10月1日（土）

会場： ハーベスト医療福祉専門学校

『プログラム（予定）』

- ・ 10:00-12:00 準備・設営
- ・ 13:00-13:30 受付
- ・ 13:30-15:00 開会挨拶、当事者事例発表、WOCナース事例発表
- ・ 15:00-15:15 休憩
- ・ 15:15-16:30 パネルディスカッション
- ・ 16:30 閉会挨拶

主催： はがき通信 共催： 兵庫頸髄損傷者連絡会